資料１－１

科学技術の振興及び
成果の社会への還元に向けた
制度改革について
（概要案）

平成１８年１２月２５日

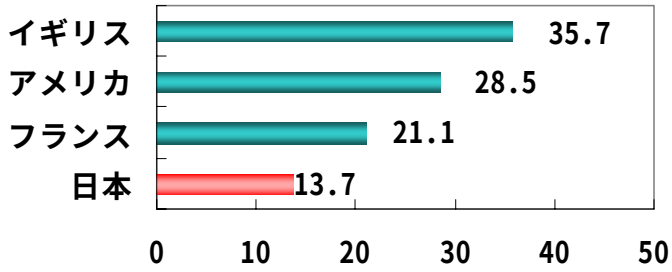
総合科学技術会議

①科学技術の振興のための制度改革

(問題点)

1．外国人研究者が少ない

博士号取得者における外国人の割合



(文部科学省科学技術・学術審議会資料)

2．研究者の流動性が低い

(年金・退職金が通算されない
ことが要因の一つ)

3．繰越実績が極めて低調

科学研究費補助金繰越実績

年度	全体比：金額	繰越件数
H17	0．08%	55件

(文部科学省ヒアリング資料)

(制度改革)

1．優秀な外国人研究者を日本に惹きつける制度

・手続きの簡素化 (対面から郵送、電子申請等へ)
・就職活動のための滞在期間延長
(現状の180日から1年へ) 等

2．研究者の流動性を高めるための環境

・年金の二重払い防止
(2国間社会保障協定の締結国拡大)
・退職金前払い制度、
業績連動型年俸制度導入 等

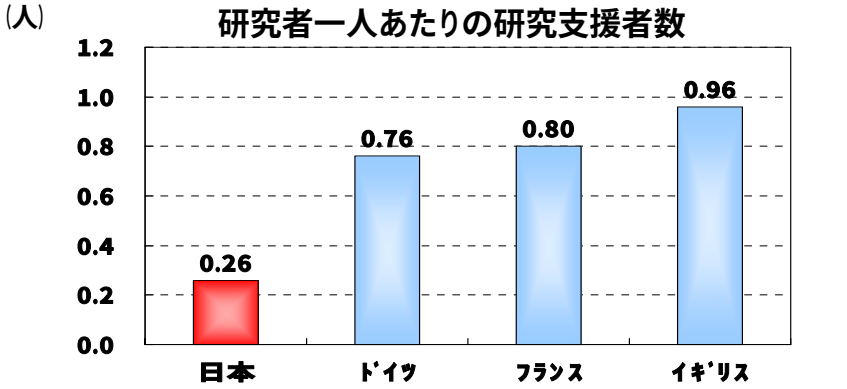
3．研究費の公正で効率的な使用

・繰越事由要件の明確化
(科研費等を参考に全ての研究費へ拡大)
・交付時期の早期化 等

①科学技術の振興のための制度改革

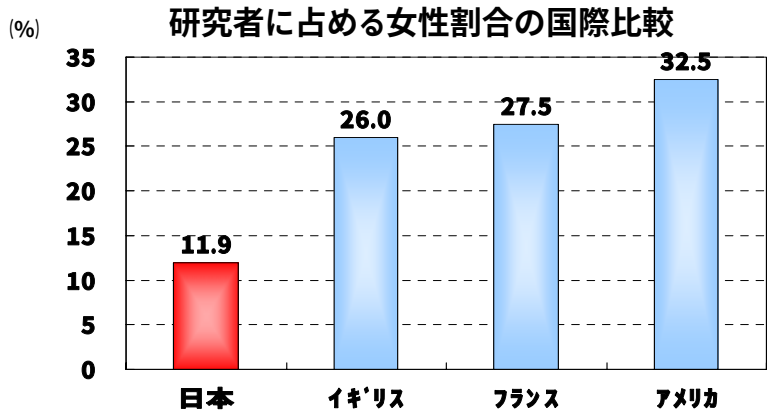
(問題点)

4．研究支援者が少ない



日本：H18科学技術研究調査報告（総務省）　その他：H18年科学技術白書

5．女性研究者が少ない



日本：H18科学技術研究調査報告（総務省）　その他：H17年男女共同参画白書

(制度改革)

4．研究支援の強化

・全学的に一括集中管理、
　複数の大学のネットワーク化
・間接経費の３０％措置

等

5．女性研究者の活躍を拡大するための環境

・育児休業取得条件等の緩和
・多様な勤務形態の拡大
　（在宅勤務制度）

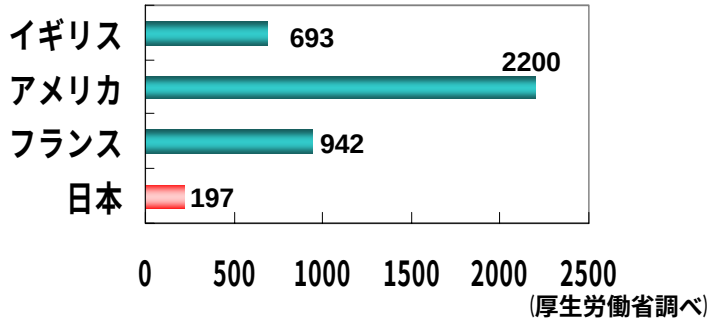
等

②成果の社会への還元のための制度改革

(問題点)

6．世界売上ﾄｯﾌﾟ医薬品の約3割が日本では未承認
(臨床研究を実施する体制の不備)

医薬品承認審査等の人員の国際比較（H17）



(厚生労働省調べ)

7．国民の科学技術に対する関心･理解度が低い

成人の科学技術に関する理解度の国際順位
25ヵ国中　22位
(H18科学技術白書)

(制度改革)

6．治験を含む臨床研究の総合的推進

･審査人員の拡大
･臨床研究の実施基準の策定
･国民の臨床研究参加促進のインセンティブ付与等　等

7．国民の科学技術理解の増進

･理解増進活動の体系化･組織化
(人材･情報のネットワーク等)
･理解増進活動の恒常化
(行動計画の策定等)　等

まとめ

・1～7について**全66**の改革事項を提言
・各提言について、担当する**省庁**、検討・結論の期限や**実施時期**を定めた**工程表**を作成

今後

臨床研究推進等、66項目の改革のフォローアップと研究資金改革等、新たな制度改革への取り組み